



別紙様式第2号(第3関係)

平成27年10月27日

奈良市議会議長 浅川 仁 様

回答者 奈良市長 仲川 元



文書質問回答票

奈良市議会基本条例第21条第1項の規定に基づく浅川 仁議員の文書質問について、次のとおり回答します。

質問事項	奈良市民の医療や健康に関するアンケート調査について
回答内容	<ul style="list-style-type: none"> ・本件調査の目的 国の日本再興戦略に基づき、本市が市民の健康保持増進を目的として策定を進めている「健康長寿施策推進のための基礎調査(奈良市データヘルス計画)」の基礎資料とするため、基本的に内閣府や厚生労働省など国の関係省庁が行った調査や指標で使用された質問項目を引用してアンケートを実施しました。 医療データとあわせて市民の健康状態や生活習慣、環境要因等を調査することで、より効果的な市民の健康長寿のための事業の推進を図ることを目的としています。 ・個人の思想、信条に関する設問が含まれる理由 社会活動への参加頻度や自主性は、心身の健康状態に影響を与える重要な指標であるといわれているため、社会参加について、より丁寧に把握する必要があると考え、社会参加の場の例示のひとつとして「市民運動・消費者運動のグループ」「宗教団体(お寺、教会など)の活動」「政治団体の活動」についての設問をあげました。



・医療や健康に関することとして市が個人のプライバシーを調査する理由

アンケート設問にある生活習慣や環境要因等も、社会活動への参加と同様に、心身の健康に影響を及ぼす要因であると考えたため、それらをアンケートに加えることで、奈良市民の健康に結びつく要因を、より詳細に把握し、本市にとって効果的な健康増進施策につなげるため調査しました。

・統計的に処理するものに被調査者の記名が必要な理由

市が保有している医療データとアンケート結果を、より正確に突合させるために記名式にしました。なお突合処理が終了次第、記名部分については削除します。

・アンケート対象者の選定理由

昭和20年1月1日から昭和24年12月31日生まれの方で、国民健康保険被保険者、奈良県後期高齢者医療保険被保険者のうち奈良市に住民票を有する者、生活保護受給者を選定しました。選定理由は、団塊の世代であり、医療や健康を考える上で最も核となる層であると判断したことと、奈良市がそれらの医療データを保有しているためです。

なお、協会けんぽや各種共済組合等に加入されている方は、奈良市が保険者でないため含まれておりません。

(担当部局：保健福祉部 保険医療室 医療政策課)

受理日 27年10月27日